



とのやま

【学校教育目標】生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成

【目指す生徒像】自立のために自律できる生徒



富士見台中学校HP

面接練習を終えて ～「出会い」を「運命の出逢い」に変えるのは、自分～

9日(火)をもって、3年生の面接練習がひとまず終了しました。すべての高校で面接が行われるわけではありませんが、3年生の皆さんには、自分の面接の有無にかかわらず、事前準備を丁寧に重ね、校長や教頭先生との練習に真剣に臨んでいました。緊張しながらも、自分の思いを誠実に語る姿は凛々しく、「本気」が伝わってきました。

面接とは、人ととの出会いの場です。「出会い」が「運命の出逢い」になるかどうかは、あなたの姿勢次第ですからね。

1・2年生の皆さん、「面接なんて、まだ先の話」と思っていないでしょうか?でも、面接は特別な場ではなく、日常の延長線上にあるものです。日々の言葉づかいやふるまい、考え方の積み重ねが、いざという時に自分を助けることもあります。

以下、今回の成果や課題、改善のヒントをまとめました。3年生の皆さんには面接練習の振り返りに、1・2年生の皆さんには未来の自分を思い描くきっかけにしてほしいと思います。

「一番の思い出」とは?

「修学旅行」と答えた人が多く、特に学年レクが楽しかったという声が目立ちました。準備から当日のパフォーマンスまで、どれも素晴らしいものでしたね。

「思い出=楽しいこと」ととらえる人が多い中で、日常の積み重ねを「一番の思い出」と語った人もいました。学校生活を大切に過ごしてきたことが、言葉の端々から伝わってきました。また、学級や部活動、委員会、学校行事でのさまざまな役割を通して得た学びを語る人もいました。「やり遂げたことで自信がついた」「人を動かすことの難しさを知った」など、本当に充実した日々を過ごしてきたのだなと実感する言葉がいくつもありました。

「一番の思い出」とは、ただ楽しかった出来事だけではなく、自分の心が動いた瞬間や、何かを乗り越えた経験の中にこそ、真の意味があるのかもしれません。これまでの歩みを振り返り、自分にとっての「大切な時間」とは何だったのか、改めて考えてみましょう。

所作に人柄が出る

入退室の動き、あいさつ、椅子の扱い方...。細かな所作には、日頃の姿勢がにじみ出ます。扉を静かに閉める、退室時に椅子を整える、そんな一つ一つの行動から、丁寧な人柄が見えてきました。一方で、退室時にサイドステップや早歩きで出していく姿には、思わず「逃げるな!」と声をかけたくなることもあります。面接は、心のあり方がそのまま表れる場です。

「いい高校」とは？

「偏差値が高いから」「有名だから」ということではなく、「この学校でないとダメなのです！」くらいの勢いで「学校 LOVE」を語る人が多くいました。学校見学で感じた雰囲気、先生や生徒の姿、先輩の話…。体験を通して「ここしかない！」と感じた強い気持ちは、面接官である我々の心にまっすぐ届きました。

自己評価、ちょっと厳しすぎない？

面接後に「自分に何点？」と聞くと、多くの人が低めの点数をつけました。自分に厳しく向き合っている証拠です。でも、もっと自分を認めてあげてもいいのではないかでしょうか。

点数が低い理由を尋ねると、「噛んだ」「言葉に詰まった」と、できなかつたことがまあ、たくさん出でます。気持ちはわかります。でも、良かったところにも目を向けよう。そうでなければ、本当の意味で自分を見つめることにはなりません。実際、面接官である私たちは、皆さんの「噛んだ」「詰まった」ことなど、ほとんど気になりませんでした。それよりも、真剣に取り組む姿勢がしっかりと伝わってきました。

「練習通り」にとらわれすぎていません？

面接は、人ととの対話です。相手への敬意があれば、自然と丁寧な言葉や所作になります。日頃からそうした姿勢を大切にしている人ほど、自然体で臨んでいました。面接直前に入室の仕方を確認しているようでは、まだまだ。日頃の積み重ねが、あなたを支えてくれます。先生にタメ口で話している人は、面接時だけ取り繕う事なんてできませんからね。絶対にボロが出ます。タメ口なんか、今すぐやめなさい！

1・2年生の皆さん、あなたはどうですか？

問い合わせにどう向き合ったか

今年は「問い合わせ」を多くしました。それは、皆さんの話が「もっと聞きたい」と思わせる内容だったからです。想定外の質問にも、自分なりに考え、言葉にしていた姿は見事でした。中には、少し意地悪な問い合わせもありました（ごめんなさい！）。でも、「すみません、分かりません」と正直に伝える姿や、真摯に向き合う態度に、私たちは心を動かされました。

面接とは、あなたという「人」を見つめる時間でもあります。だからこそ、取り繕うよりも、自分らしく、誠実であることが何よりも大切なことです。

いよいよ本番へ

年が明ければ私立高校の入試が始まり、2月には県立高校の入試が控えています。不安や緊張もあると思います。でも、今回の面接練習で見せてくれた皆さんの姿、準備を怠らず、真剣に向き合い、誠実に言葉を紡いだあの姿は、まさげもなく「本気」の証でした。

面接練習を通して、皆さんの中に「受験生としての自覚」が芽生えたことを感じました。入試本番までの限られた日々、志望校への思いを胸に、今できることを一つ一つ積み重ねていきましょう。

3年生の皆さんのお手紙を、心から応援しています。

この手紙は保護者の方へもお渡しして、ぜひ読んでください